



8月講師例会
教育部 濱 岳



8月講師例会は、まだ年金の5,000万件未照合問題の真っ只中で、講師に宇部社会保険保健事務所職員 佐々木健氏をお迎えし「私達の年金について」と題して、年金のお話をしていただきました。

内容としては、大筋の年金の仕組みを学びました。

お役人という職業の立場上、後の問題になってしまうような突つ込んだ内容のお話が無理そうなところが、少し残念だったような気もしますが…。でも、予定時間を大オーバーするほど、質疑応答も盛り上がりました。

私的には、会社の年金保健などほとんどの事務的な仕事は、社会保険労務士さんに任せっきりのところもありましたので、自分でも勉強する良いチャンスが出来、個人的にも社会保険事務所に行くきっかけ作りも出来たのかなあと思いました。

8月例会後にも全国の社会保険庁職員の横領問題、厚生労働省などの、隠ぺい問題などが、次々とニュースに出てきています、ぜひとも気を引き締めていただきたいものです。

9月講師会（9月14日）
教育部 大下 智寛

9月の講師例会は、オーダーサロンGAMINの尾崎洋子先生をお招きして、「経営者のためのカラーコーディネート」と題してご講演いただいた。

普段あまり気にも留めていなかった色についてのお話。普段の講演の対象は全て女性ということもあり、男性相手には少々頭を抱えておられた所もあったが始まればさすがの壇上捌き。ピンクの洋服を纏った華やかこの上ない先生の口から最初に突いて出た言葉。それは般若心経である。大般若経600巻を圧縮してエッセンスのみを搾り出した、266文字の大変密度の濃い功德のあるお経。

色即是空・空即是色。全ての次元・空間をたったの8文字で表している言葉から、経営者に対する檄が飛ぶ。色の講義にしてはとても奥深く哲学的な内容であったように思う。また、英雄色を好むの真意についても分かり易くご説明頂き、講演の時間はあつという間に過ぎて行った。

もちろん専門である色彩についての講義も頂いたわけだが、こちらも実に興味深い内容だった。経営者のファッショントップのみならず、目に見える物の世界の捉え方を、色を通じて教えて頂いた貴重な90分であった。

最後に、尾崎先生からの言葉にもあったが若き経営者の方々には、是非ともこの宇部を、いやもっと広くは地球を、元気で住み易い空間にして欲しいのだ…

この言葉をしっかりと肝に据え、日々精進して行きたいものである。



国際交流事業（8月19日）
企画部部長 中川繁巳

8月19日に小野湖特設会場にて開催された「小野湖交流ボート大会」に参加する事業、会員の皆様のおかげで無事に成功しました。猛暑の中での競技参加や応援など、本当に疲れ様でした。

さて今回は、国際交流の真髄を探るべく、若き経営者の会会員とそのご家族、宇部在住の留学生とそのご家族、それぞれ混成3チームで出場しました。

出艇直前に作戦会議をして(もちろん留学生に分かりやすいように)、いざレースでは力を合わせ、競技後は、ああだこうだと第2レースへの反省をする(もちろん留学生に分かりやすいように)、このようにして各会員なりの国際交流を実現しました。なおかつ、総合29位、46位、47位という輝かしい結果を残せました、52チーム中ですが…。

また留学生の皆さんやそのご家族にとって、日常では楽しめないアロライベントに参加できたことが彼らのいい思い出になった、と後日、常盤工業会や宇部フロンティア大学よりお礼の言葉を頂きました。ボート競技やその結果以外でも、大会参加にまつわる行事で多くのコミュニケーションがとれました。

この度で2回目の参加となった小野湖交流ボート大会ですが、留学生を取り仕切る常盤工業会では、「毎年恒例」になりつつあり、今回参加した人、出来なかつた人も、次回が楽しみという思いがあるそうです。若経と留学生チームの大会参加にあたっては、評価できる点もありつつ、反省し今後生かすべき事柄も少なくありませんでした。

来年度に三度、ボート大会に出場となれば、ヨリスマーズで気持ちよく立ち振る舞えるでしょうし、順位もあがって決勝進出なんてこともあります。そうなつたら幸いです。

